

# ひろか

だより

第392号

令和7年3月17日

発行



弘果 弘前中央青果株式会社

津軽の「うまい」がここにある

豪雪被害樹のサポートに!

## 枝受け 杉材支柱



各サイズ取り揃えております



### つがりあんメロン アムさん



### 津軽の春を呼ぶ 定植始まる

つがる市木造地区の阿部祐一さん、松橋尚子さん、山谷文人さんのハウスでは3月1日、つがりあんメロン「アムさん」の定植が始まりました。

当日は阿部さん、松橋さん、山谷さんとスタッフ、そして青森オリジナルメロン生産連絡協議会茨谷充会長も来園し、一本一本丁寧に定植を行いました。3月上旬までには全6棟のハウス（20坪相当）に約1640本の苗が定植される予定です。今後は、温泉熱を利用して温度管理を行う等栽培管理を徹底することで、食味・品質の良いメロンに仕上げていきます。

阿部さんは「初競売の話題性や知名度向上もさることながら、『つがりあんメロン』は『美味しく高品質なメロン』というブランド自体の価値を高めていくことで、『つがりあんメロン』全体を盛り上げていきたい」と話していました。

松橋さんは「今日は気温も高く良い定植日和となりました。近年は、気温の急激な変化や日照不足等の天候不順により、栽培管理が難しいですが、高評価をいただけるメロン生産を目指し、初出荷に向けて励んでいきます」と意気込みました。

期待を込め一本一本を丁寧に定植  
「アムさん」は6月上旬に収穫される予定です。

弘果総研りんご高密度栽培研究会  
報告会で成果を共有

参加者からは「今日の報告会では、課題を共有し、改善すべきことを明確化できたと思います。高密度栽培によるりんご生産の未来に向けて、私たちの取り組みが波及し拡大することを期待しています」と話していました。



弘果総研りんご高密度栽培研究会（田中一幸会長）では2月18日、令和6年度の報告会を行い、会員や関係者15名が参加しました。

報告会では会員の高密度栽培は勿論、一部丸葉、わい化栽培を含めた6年産りんごの調査報告が行われ、栽培を振り返りながら改善点などを挙げ、次の栽培に向けた取り組みや目標について活発な話し合いが行われました。

また、各地のりんごを試食し、試験者の生育年数や栽培方法によるりんごの違いを比較していました。

### Procrea 青森みちのく銀行 りんご生産者対象 産地市場活性化ローン

対象者	以下の①②両方を満たす個人事業主および法人（NPO法人は対象外） ①青森県内でりんごの生産を行っている方 ②両市場へりんごを販売される方
使いみち	営農資金 融資期間 1年以内
固定金利	①固定金利 1.750%～3.900% (申告内容によって適用金利を設定させていただきます) ②金利優遇 農業共済に加入していることが証明された場合、上記金利から0.200%優遇いたします
取扱店	〈弘果弘前中央青果(株) 担当店〉 城東支店 0172-27-6701 〈(株)津軽りんご市場 担当店〉 板柳南支店 0172-73-2121 板柳支店 0172-73-3211 上記、該当店の法人営業課がご対応いたします

青森みちのく銀行が弘果と津軽りんご市場と提携し、りんご生産者向けの金融支援として、運転資金制度「産地市場活性化ローン」を開発し、取り扱っています。

同制度は、両市場にりんごを出荷する県内の個人事業主と法人が対象で、出荷したりんご売上代金を担保に融資し、営農に限る運転資金として利用できます。

不動産担保、保証人不要で、借入れしやすくなっております。金利については、青森みちのく銀行所定の固定金利で、農業共済に加入している場合は、年0.2%金利を引き下げることができます。融資の期間は1年限度額は300万円以内で、市場への出荷箱数により変わります。また、両市場に出荷実績のない方でも、これから出荷することで利用できます。

詳細は同ローン取扱店（別表参照）へご来店及びお問い合わせください。

尚、両市場で実施している「りんご予約金制度」は変わらずにお使いいただけますので、こちらも引き続きご利用ください。



栽培方法によるりんごの品質・食味を確認

### 第15回ゴニカン弘果カップ開催



熱戦を繰り広げ親睦を深める参加者

### ダズバン剤を使用しないようお願いします

「ダズバンDF・ダズバン乳剤40・ダズバン粒剤」について、令和7年（2025年）2月に登録失効となりました。また、4月には販売禁止農薬となる可能性がありますので、使用しないようお願い致します。

なお、対象薬剤については、メーカー側で返品・回収の対応を取る予定ですので、在庫がお手元にある場合には購入先に相談してください。

■対象薬剤

ダズバンDF	ダズバン乳剤40	ダズバン粒剤
--------	----------	--------

ご不明な点がございましたらお気軽に弘果トレサビセンターにご連絡ください。弘果トレサビセンター TEL: 0172-29-4184

津軽地方で親しまれるトランプゲーム「ゴニカン」を通じて、生産者や買参人、弘果グループ関係者の親睦を図ることを目的とした当社主催の「ゴニカン弘果カップ」が2月19日、青森県武道館において開催されました。

総勢267名が参加した会場では、札の配り役を含めた6人一組が座布団を囲み、各所で手札を覗めながら「読み」「駆け引き」の応酬が行われ、冬の寒さを吹き飛ばす熱戦が繰り広げられました。

個人戦、団体戦の上位入賞者は次の通りです。

〔個人戦〕(敬称略)  
優勝：工藤松義 (十腰内地区りんご協議会B)  
準優勝：成田昭則 (共進出荷組合)  
第3位：岩井清 (東北北海屋A)  
第4位：高橋清廣 (茜フレンド)  
第5位：野呂勇 (汝之和の会)

〔団体戦〕(敬称略)  
優勝：居士出荷組合A  
準優勝：丸弘十面沢出荷組合  
第3位：いたやなぎGアップル  
第4位：十腰内地区りんご協議会B  
第5位：福村野菜出荷組合



# 「農」の「業」を継ぐ

## 期待の後継者



**福士 ひかる 孫さん (27)**

【園地所在地】 つがる市木造川除 (かわよけ) 他  
 【作付状況】 メロン (アーバンデリシヤス)・30ア、ミニトマト・ハウス4棟、ブロッコリー・50ア、ねぎ・50ア

家業である「農業」に希望を見出し、夢に向け努力する期待の後継者を紹介します。

【就農年】 2017年  
 【きっかけ】 米を中心に栽培する農家に生まれ育ちました。やがて家業を継ぐことを念頭に、青森県営農大の畑作専攻に進み、卒業後は家業の手伝いをしていました。日々の仕事に追われる中、家業の将来を見据えて、自分でも新たな品目を栽培していきたいと思い、ハウスを建てミニトマトを栽培しました。そして様々な野菜の栽培にも取り組みましたが、自身の農業経営の主力となる品目を探していたところ、営農大時代の同級生が弘果の農産指導課におり、色々と相談に乗ってもらっていました。その中で、弘果の栽培指導が行き届いていて、「つがりあん」ブランドとして販売にも定評があるメロン「アーバンデリシヤス」を選び栽培を始めました。

【現在】 メロン生産において、弘果の栽培指導、出荷・販売面でのサポートが非常に心強く、安心して出荷することができました。また、採算性を考え、品目の取捨選択を行っています。自身の農業経営基盤確立に向けて、生産、出荷を軌

道に乗せることを目的に日々励んでいます。

【夢・展望】 「農業経営をデザインする」ことを目標に、多角化、一年を通じた農業、規模拡大を考えています。先ず取り組んでいることは、弘果で産地化を目指し勧められている「里芋」の栽培です。米作りで使用している機械類が利用できるメリットがあり、またアーバンデリシヤスと同様に、弘果のサポートが非常に心強く、期待が高まっています。

【座右の銘】 「心の中のリトルフクシに聞く」国内外で活躍したサッカー選手本田圭佑氏が、海外の有名クラブに移籍した際の入団会見で発した「心の中のリトルホンダに聞いて入団した」が由来です。「リトル〇〇」は、自分の心や頭の中にある、いわゆるもう1人の本質的な自分のことです。人間は本音で言わないし、見られたくないものを隠します。でも常に本当の自分は自分に対して嘘をつかないので、決断を要するときは、心の中に居る「リトルフクシ」に問い掛けています。

第79回国民スポーツ大会  
 冬季大会スキー競技会「あきた鹿角国スポ2025」



## 2024-2025 シーズンニュース

### あきた鹿角国スポ

が2月13日～16日、秋田県鹿角市で行われ、弘果SRC(スキーレーシングクラブ)の土屋正恵選手と横濱汐莉選手が出場しました。

大会3日目の2月15日は女子5キロクラシカルが行われ、土屋選手が2位以下に20秒以上の差をつける圧巻の滑りで2連覇を果たしました。横濱選手も土屋選手と同じ14分台でゴールする力走を見せ3位となり、2人そろって表彰台に上りました。



弘果応援団の声援を受け快走する土屋正恵選手(左) 横濱汐莉選手(右)

が4月に行われ、土屋選手が青森県の第3走、横濱選手が第4走で出場しました。土屋選手は第2走の選手から6位でタッチを受けると、1分以上の差をつけられていた前の選手を次々と抜き去り4位に浮上し、表彰台への希望をつなぎました。タッチを受けた第



4走の横濱選手はさらに順位を上げ、2年連続となる3位でゴールしました。

大会では、土屋選手と横濱選手が出場した両日とも、弘果から応援団が駆け付けました。コース脇のぼり旗や横断幕を掲げて、コース各所から大きな声援を送りました。

### あきた鹿角国スポ 大会結果

2月15日(土)

女子5キロクラシカル

【成年女子B】

1位	土屋	14分06秒0
3位	横濱	14分55秒6

2月16日(日)

女子4x5キロリレー	53分29秒6
3位	青森
土屋3走、横濱4走	

レースを終え、土屋選手は「応援が私の力の根源になっていた」と笑顔で話し、横濱選手は「普段支えてもらっている分、恩を形で返すことができ良かったです」と駆け付けたい応援団へ感謝を伝えました。

## 桃剪定勉強会初開催

桃の生産者から要望により2月27日、桃剪定勉強会が弘果の呼びかけで初開催されました。

弘前市糠坪地区の園地にて行われた勉強会は、桃の生産者約40名が参加し、地方独立行政法人青森県産業技術センターよりご研究所より講師2名を迎えて行われました。

勉強会では、講師が品種や樹齢などを考慮し、主枝、亜主枝、側枝、結果枝をバランスよく整え、剪定のポイントを解説しました。参加者は配布された資料を見ながら、真剣な様子で聞き入っていました。また勉強会の終了には、参加者から多くの質問が飛び出し、講師が実演しながら一



熱心に講師の実演に見入り耳を傾ける参加者

つ一つ丁寧に答えています。

参加した生産者は「桃剪定勉強会が初開催されたということで参加しましたが、今まで講師から直接学ぶという機会がなかったため、とても貴重な時間となりました。今日学んだことを応用しながら自分の剪定技術を高め、高品質な桃の生産に向けて努力していきたいです」と話していました。

弘果りんご連絡協議会(以下弘果りんご連絡協議会)と津軽りんご市場連絡協議会(以下津軽りんご市場連絡協議会)では例年、1月上旬に高品質なりんご生産に向けた剪定技術向上を目的とした剪定勉強会を行っていました。しかし、今年は大雪の影響により開催が延期となり、弘果りんご連絡協議会では中弘地区において2月13日、津軽りんご市場連絡協議会では板柳地区において2月15日に開催され、各会場には多くの生産者が来場しました。



弘果りんご連絡協議会中弘会場



津軽りんご市場連絡協議会板柳会場

勉強会では、講師が樹形の方向性や樹勢の調整、作業のしやすさなどを考慮しながら剪定を実演しました。また、りんご生産者の高齢化や人手

## 花き部 講演会 開催

花き部では2月15日、弘前市フオルトーナにおいて講演会を行いました。

花き生産者や買参人等の市場関係者約60名が参加した講演会では、大田花き磯村信夫代表執行役社長が講師を務め、「青森県の動向をふまえた生き残る卸売市場「生産すべき品目」をテーマに、実例や各種データを基にして、「市場は各機能を磨きつつも、規模の拡大や集約が必要な時代を迎えている」とトレンドを構成する



身振り手振りを交え熱弁を振るう磯村氏

7つの要素からデータを分析した推奨品目の紹介」等、身振り手振りを交え、約2時間にわたり熱弁を振りました。

講演を聞いた参加者は「地域の花き生産、卸、小売が大変な時代を迎えている中、今後の仕事のヒントとなる有意義な話が聞けました。今以上に業界の活性化に向けて取り組んでいきたい」と話していました。

不足により葉とらずふじが増えていることを受け、両会場では、葉とらずふじの剪定も行われました。講師は葉とらずふじの剪定について「枝の仕立て方が通常の剪定と変わる」ことを力説していました。

講師の剪定を熱心に見聞きした参加者からは「除雪が遅れて園地に入り作業することが困難な状況ですが、講師の実演から得たことを試してみたいです。また、葉とらずは剪定方法が違うことを知り、大変参考になりました」と話していました。